

(2) 中支ニ於ケル日本軍租界進駐以後ノ金融施策

0145

REEL No. A-0255

0145

アジア歴史資料センター

E.O.O-0-5

145

機密

十八年三月

中文ニ於ケル皇軍租界進駐以後ノ金融施策概況（第六編）

在上海大日本帝國大使館事務所財務部

42

10146

REEL No. A-0255

0404

アジア歴史資料センター

序

本調査ハ大東亞戰爭勃發以後中文ニ於テ實施セラレタル數多クノ諸金融政策ニ付其ノ記錄ノ收集ヲ爲スヲ主眼トシ、金融情勢ノ推移其ノ將來等ニ關スル記述ハ之ヲ極力省略セリ。
大東亞戰爭勃發以後支那ノ情勢ハ一變シ支那ヲ語ル者ハ戰前ノ支那ニハルトキハ大イナル過誤ヲ犯スルモノナルコトハ支那各地ニ付共通ト思料セラルルモ特ニ中支就中上海ニ在リテ此ノ點ニ注意スル要アリ戰爭勃發後中支視察ニ來瀕ヤル内地關係者及ビ滿洲、蒙疆、南支關係者ハ視察後齎シク此ノ事實ヲ確認セラレタルモノト思料ス。
本調査ハ中支ニ於ケル今後ノ施策ノ參考ニ資スルト共ニ大東亞共榮圈内他地域ニ於ケル金融施策上若干ノ參考ニ供スルヲ得バ幸甚ナリ。

昭和十八年三月

在上海大日本帝國大使館財務部

目次

第六	新通貨對策（其ノ四）	1
第十五	軍票ノ新規發行廢止措置	1
一	軍票整理ニ關スル方針ノ決定	1
二	軍票儲備券一体化ノ強化措置	1
三	軍票整理要領ノ決定	5
四	軍票整理ニ關スル日華當局談話發表	8
五	本邦側銀行及外華銀行ニ對スル措置	17
六	民國稅ノ儲備券納入取扱並ニ上海日本商工會議所會頭ノ談話發表	25
七	國庫金取扱ニ關スル特別規程ノ制定	25
第十六	中南支對日本北支滿洲南方間旅行者携帶金交換方法	55
改訂措置		
一	現地機關決定	

- 三本邦、中南支間旅行者携帶金交換方法改訂ニ關スル中央決定
- 三旅行者携帶金交換方法改訂ニ關スル新聞發表
- 四北支間旅行者携帶金交換方法ノ改正
- 第十七中央儲備銀行券ノ價值維持ノ爲ノ措置
- 第十八中國交通兩銀行ニ關スル措置
- 一中國、交通兩行處理方針
- 二中國、交通兩銀行處理要綱
- 三第一回中交兩行處理日華混合委員會
- 四第二回中交兩行處理日華混合委員會
- 五第三回中交兩行處理日華混合委員會
- 六中交中交兩行開業ニ關スル當局談發表
- 七第四回中交兩行處理日華混合委員會
- 八中國、交通兩行復業
- 九南支間復業狀況

117 110 100 86 95 89 66 66 66 66 68 61 42

第十 軍票ノ新規發行廢止措置

一 軍票整理ニ關スル方針ノ決定

中央儲備銀行券ニ依ル中支幣制ノ統一ハ中支通貨政策ノ既定の根本方針ニシテ、我方ニ於テモ昭和十六年一月中央儲備銀行ノ設立以來其ノ育成強化ト同銀行券ノ流通擴充ヲ計ルヘク全幅ノ協力ヲ爲シ來リタル處、日華協力ニ依リ同銀行ノ基礎モ愈々充實シ、殊ニ舊幣ノ全面的驅逐ニ依リ中央儲備銀行券ハ中支ニ於ケル唯一ノ法貨トシテ其ノ流通分野モ和平地區全域ニ及ブニ至ル迄ニ擴大シ來リタルヲ以テ、日本側ニ於テハ此ノ際更ニ儲備券ニ依ル幣制統一ニ協力ヲ爲スコトトシ、昭和十八年八月興亞院會議ニ於テ決定セル「軍票新規發行廢止措置ニ關スル件」ニ基キ四月二日以降中南支ニ於テ軍票ノ新規發行ヲ廢止スルコトトヤリ。

二 軍票、儲備券一体化ノ強化措置

現地ニ於テハ右中央ノ大方針決定以來該方針ニ則シテ經過的措置ト

シテ既述ノ如ク軍票、儲備券ノ一体化ニ依ル儲備券ノ流通擴充ヲ計ル様各種施策シ來リタルモ、昭和十七年六月ノ舊幣全面交換、並ニ十一月ノ舊幣最終交換並ニ十二月一日ヨリノ舊幣ノ保存、所有ノ禁止ニ依リ、舊幣ハ完全ニ中支全地域ヨリ一掃セラレ、舊幣ニ代リ儲備券ハ全地域ニ流通スルニ至レリ。

茲ニ於テ中支幣制、統一ノ完成ヲ計ル爲ニハ軍票、儲備券ノ一体化ニ依ル儲備券ノ流通分野ノ擴大ヲ圖ルヲ要スルヲ以テ昭和十八年二月十日現地關係機關官大使館ニ參集協議ノ結果措置要項ヲ左ノ通決定、各關係機關ニ於テ分坦施策ヲ公共事業會社料金ノ兩建徵收、小賣物價ノ兩建制ノ遂行及官廳、國策會社等ノ收支兩部面ニ於ケル儲備券使用ノ擴充等逐次儲備券一本建ニ依ル經濟ノ遂行ニ支障ナカラシムル様施策ヤリ。

◎上海地區ニ於ケル儲備券流通擴充ニ關スル件

(昭一八、三、一〇)
現地關係機關決定

0150

方針

中支ニ於ケル儲備券工作ノ進展ニ伴ヒ軍票、儲備券ノ一体化經濟ヲ更ニ強化スル要アルニ付テハ上海地區ニ於テ從來措置シ來リタル物價、サービス料其ノ他ノ消費部面並ニ給料勞賃其ノ他個人經濟ニ於ケル收入部面ノ儲備券使用分野ヲ一段ト擴充スルコトトシ左ノ如ク措置スルモノトス

措置

1. 如口物價ノ儲備券化促進
- イ、各商品ノ價格ノ軍票並ニ儲備券兩建正札制ヲ強化スルコト
向兩建困難ナルトキハ儲備券正札制トシ軍票儲備券兩建淨済トスルコト
- ロ、前記兩建制正札モ暫次儲備券建正札制ニ移行スルコト

ハ、各種市場並ニ購買組合等ニ於テ時ニ兩建ヲ勵行ヤンムル様措置スルコト

2, 主要商社ニ於ケル給與ノ儲備券拂實施

イ、官廳、國策會社ニ付テハ措置濟ニ付其ノ他ノ主要商社（銀行、輸配聯、物動組合加入商社、統制産業會社、保險會社等）ニ付實施スルコト

ロ、三月分ヨリ實施スルコト

ハ、實施ニ當リテハ少クトモ給與額ノ五割以上ヲ儲備券拂トスルコト

ニ、物件費ニ付テモ極力儲備券拂トスルコト

3, ホテル、旅館、下宿、アパート料金ノ儲備券建收入ノ實行

イ、儲備券建ヲ勵獎スルコト

ロ、儲備券ニ依ル室料表示ヲ勵行スルコト

4, 料亭、飲食店其ノ他接客業收支ノ儲備券化勵行

1, 儲備券ニ依ル料金表示ヲ勵行スルコト

5, 映畫館料金ノ兩建實施

イ、料金ノ兩建表示ヲ勵行スルコト

6, 日本人俱樂部、日華俱樂部ノ收支ノ儲備券化

7, 民國稅ノ儲備券、軍票、兩建納入ノ實施、民國支出ノ儲備券分野確立ヲ圖ルコト

8, 大口商社（物動組合加入商社、統制産業會社等）ノ儲備券取引ノ移行勵獎

9, 保險契約ノ儲備券建契約ヘノ移行

イ、損害保險契約ノ儲備券建契約ヘノ移行

ロ、生命、徵兵保險契約ノ儲備券建契約ノ勵獎

10, 儲備券ニ依ル國債購入ノ實施

イ、當局ニ於ケル措置

ロ、民像ニ對スル勵獎

0151

尙本件措置ニ關シ物價ノ吊上ヲ爲スカ如キコト無キ様嚴重監視スル
モノトス

右ノ如ク當局ノ適切ナル施策ニ依リ儲備券ハ印票ト完全ニ一体化セラル
レタルヲ以テ二月十七日上海ニ軍票對策委員會ヲ開催中央決定ノ方針
ニ基キ四月一日以降中南支ニ於テ軍票ノ新規發行ヲ廢止スルコト、シ
之カ措置大項ヲ左ノ通り決定シ、其ノ詳細ナル實施要領ヲ南京ヲ於テ
開催セラル、軍票整理ニ關スル委員會ニ於テ決定スルコト、セリ。

0152

軍票ノ新規發行廢止ニ關スル件（案）

昭和十八年二月二十七日
軍票對策委員會

- 一、中南支ニ於ケル軍票ハ本月一日以降國庫金ノ支出（野戰郵便局貯金ノ拂戻ヲ含ム）銀行ニ於ケル預金、貸出、爲替等ノ支拂ニハ一切之ヲ使用セズ（以下單ニ軍票ノ新規發行廢止ト呼稱ス）但シ、中央銀行銀行券ノ手持高ノ關係等止ムヲ得ザル時ニ限り一部軍票ヲ使用スルコトアルヘシ
- 二、市面流通軍票ノ新規發行廢止後直ニ之ヲ回收スルノ措置ヲ講ズルコトナク引續キ自由ニ流通ニ委ヌ
- 三、軍票建債權債務（銀行預金ヲ含ム）ハ軍票ノ新規發行廢止後直ニ之ヲ備前二項ノ場合ニ於テ軍票新規發行廢止ノ趣旨ニ則リ關係者ヲシテ認ム

四、前二項ノ場合ニ於テ軍票新規發行廢止ノ趣旨ニ則リ關係者ヲシテ備前二項ノ場合ニ於テ軍票新規發行廢止ノ趣旨ニ則リ關係者ヲシテ

軍票整理要項ノ決定
次テ三月三日南京大使館ニ於テ軍票整理ニ伴フ現地關係機關會議ヲ
開催シ軍票ノ新規發行廢止後ニ於ケル市面統通軍票及軍票預金等ノ
處理要領ヲ左ノ通り決定シ關係機關協力ノ下ニ圓滑ナル遂行ヲ計ル
コトトナリ。

◎軍票ノ新規發行廢止後ニ於ケル市面
流通軍票及軍票預金等ノ處理要領

昭和十八年三月三日
支那派遣軍總司令部
左 面 艦 隊
大 使 館

0154

第一、方針

軍票ノ新規發行廢止後ニ於ケル市面流通軍票及軍票預金等ノ處理ハ儲
備券印刷輸送能力、儲備券價值ニ及ホス心理的惡影響、通貨工作轉換
ニ際スル投機換物運動ノ激化懸念等ニ鑑ミ急速ナル回收及切替ヲ避ケ
漸進的ニ之ヲ行ヒ以テ中南支經濟ニ與フル不安動搖ヲ回避スルモノト
ス

第二、要領

其ノ一 軍 票

一、四月一日以降市面流通ノ軍票ハ引續キ自由流通ニ委スルコト

三 三月三十一日現在部隊及官廳ニ於テ保有スル軍票ハ特別ノ場合ヲ除キ之ヲ四月一日軍票價值平衡資金勘定ヲ以テ儲備券ニ交換スルコト
四月一日以降部隊及官廳ニ於テ受入ルル軍票ハ右ニ準シ速ニ儲備券ニ交換スルコト
三 三月三十一日現在金融機關（邦人銀行、中央儲備銀行、華興商業銀行以下同斷）ニ於テ保有スル軍票ハ四月一日必要止ムヲ得サルモノヲ除キ之ヲ軍票價值平衡資金勘定ヲ以テ儲備券ニ交換スルコト
四月一日以降金融機關ニ於テ受入レ又ハ取得スル軍票ハ右ニ準シ隨時ニ又ハ週間若クハ旬間ノ分ヲ取纏メ之ヲ儲備券ニ交換スルコト
四 部隊及官廳ハ別段ノ指示アル迄收入金トシテ軍票ヲ受入ルルコト
五 金融機關ハ四月一日以降別段ノ指示アル迄軍票又ハ軍票手形ヲ受入ルルコト
六 四月一日以降軍票價值平衡資金勘定ニ依ル軍票對儲備券賣買ハ軍票買ノミニ限り軍票賣ハ三月三十一日限之ヲ停止スルコト

但シ特定ノ場合ノ指示ニ依リ軍票賣ヲ爲スコトヲ得
七 軍票價值平衡資金勘定ハ適當ノ時期ニ之ヲ閉鎖スルコト
其ノ二 軍票預金勘定

八 金融機關ハ四月一日以降別段ノ指示ヲ受ケル迄ハ軍票預金勘定ヲ原則トシテ存置シ得ルコト但シ預金者ノ希望ニ依リ之ヲ儲備券預金勘定ニ切替フルコト
九 金融機關ハ四月一日以降軍票預金ノ支拂ハ儲備券ニ依ルコト、此ノ場合ノ軍票對儲備券換算率ハ軍票一八圓ニ付儲備券一〇〇元ノ割合ナルヘキコト但シ軍票現札ヲ要セサル振替支拂ハ交換經由手形ノ支拂ハ之ニ準スルハ此限リニアラス
尙當局ハ特ニ必要ナル場合軍票ニ依ル支拂ヲ指シスルコトアルヘシ
十 金融機關ハ四月一日以降別段ノ指示ヲ受ケル迄軍票預金勘定ニ軍票又ハ軍票手形ヲ受入ルルコト
十一 軍票手形交換ハ四月一日以降別段ノ指示アル迄從前通り行フコト

右交換ニ依リ生ズル交換尻ノ拂込ハ其ノ一部又ハ全部ニ付備備券ヲ以テ爲スコトヲ得、又交換尻勝トナル銀行ハ交換尻ノ一部又ハ全部ニ付備備券ニ依ル拂込ヲ拒否セザルコト
去金融機關ハ軍票預金勘定ノ支拂ニ要スル備備券資金ノ手當ニ付テハ別途當局ニ於テ之ヲ定ムルコト
去金融機關ノ日本國勘定預金ノ取扱若クハ現有ノ軍票預金勘定ヨリ日本國勘定ニ切替ヲ爲スコトヲ得ス、但シ軍及官關係等ノ預金ニ付テハ特ニ必要アル場合ハ此限ニアラス
商軍票預金ヲ以テスル内地差金及邦人會社商店ノ利益金又ハ餘裕金ノ内地回金ニ對シテハ爲替許可ヲ更ニ緩和スルコト
其ノ三 其ノ他ノ軍票建債權債務
去金融機關ハ四月一日以降別ニ指示スル場合ヲ除キ貸出爲替等軍票建債（日本國建）勘定ノ支拂ハ之ヲ備備券ニ依ルコト
去前項ノ場合軍票（日本圓）對備備券換算率ハ軍票（日本圓）一八圓ニ付備備券一〇〇元ノ割合ナルヘキコト

四 軍票整理ニ關スル日華當局談話發表

軍票新規發行廢止ニ關シテハ一般民衆ニ周知セシムル爲三月二十四日現地 海軍、日本大使館連名ヲ以テ之ニ大綱ヲ發表スルト共ニ一方日本ニ於テモ現地發表ト同時ニ大東亞大臣談、大藏大臣談ヲ發表日本側ノ中國通貨政策ニ對スル協力態度ヲ闡明シ併テ備備券ト日本圓ニ對スル交換比率ヲ十八圓ニ一定スル旨附言シ民衆ノ不安ヲ一掃ナリ。
國民政府ニ於テモ同様財政部長談ヲ發表シ日本ノ協力ヲ感謝スルト共ニ中國民衆ニ對シ軍票新規發行廢止オ意義ヲ闡明セリ。

◎軍票新規發行廢止ニ伴フ日本側當局談 (昭一八、三、二四日發表)

支那派遣軍總司令部
支那方面艦隊司令部
在中華民國大日本帝國大使館

來ル四月一日以降軍票ノ新規發行ヲ廢止ス、即チ國庫金ノ支出及銀行ニ於ケル預金、貸出、爲替等、支拂ハ軍票ヲ使用ヤズ總テ中央儲備銀行券ニ依ルコトトセリ、從來軍票ハ日華兩國民ノ間ニ厚キ信賴ヲ以テ使用ヤラレ又昨年五月末以降中央儲備銀行券百元ニ對シ軍票十八年ノ割合ニ定メラレテヨリ軍票儲一券ハ一體化シ、其ノ價值ハ右ノ比率ニ安定シ、此ノ爲中央儲備銀行工作ハ極メテ順調ニ進捗シ今日ニ及ベリ、今般軍票ノ新規發行廢止ニ依リ軍票經濟ハ逐次儲備券經濟ニ移行シ中央儲備銀行券ニ依ル通貨統一工作ハ茲ニ名實共ニ完成ヲ見ルニ至リ國民政府ノ政治力ハ愈々滲透ノ度ヲ加ヘ、中國經濟ノ運行ハ益々圓滑且ツ活潑化シ經濟戰力ノ強化ヤラレルコトトナリタルハ友邦當局ト

シテ誠ニ欣快ニ耐エザル所ナリ

然レ共軍票ノ新規發行廢止後ト雖モ當分ノ間市面ニ於ケル軍票ノ流通及軍票建債債務ノ存續ハ其ノ儘認メラレ、直チニ強制的ニ市中ニ在ル軍票ヲ回收シ又ハ軍票建債債務ヲ切り替フルガ如キ措置ヲ採ラズ之軍票經濟ノ儲備券經濟ヘノ圓滑ナル移行ヲ希望スル所以ナリ

軍票新規發行廢止後ニ於テハ中央儲備銀行券ト日本圓トノ交換比率ハ儲備券百元ニ對シ日本圓十八圓ノ割合ニ定メラレ、之ガ堅持ノ爲日華兩當局ハ相協力シ萬全ノ措置ヲ講ズルコトトナリタルヲ以テ中央儲備銀行券ノ價值ハ愈々安定ヲ見、茲ニ日華兩國間ノ資金ノ交流、爲替ノ決済ハ益々圓滑トナリ兩國經濟ノ發展ニ寄與スルコト甚大ナルモノアルヲ確信スル次第ナリ

軍票新規發行廢止ニ伴フ具體的措置ニ關シテハ別途指示スル所アルモ一般人ハ克ク當局ノ意ヲ體シ今後ノ施策ニ協力量ンコトヲ要望ス

◎軍票新規發行廢止ノ件ニ伴フ大東亞大臣談(昭二八、三、二四日發表)
今回中東支ニ於テ軍票ノ新規發行ヲ廢止サレルニ至ツタコトハ儲備券
ニ依ル中南支通貨統一ノ完成ヲ意味シ中國通貨制度ノ發展上ニ新時期
ヲ企スルモノテアルノミヨラズ中央儲備銀行ノ基礎堅實テアリ儲備券
ノ信用又鞏固ナル證左テアル
本年一月參戰以來二ヶ月餘ヲ經過シタニ過キナイカ其ノ間中國ニ於ケ
ル戰時經濟態勢ノ整備ハ急速ニ進捗シ集荷配給及國內交易ノ中樞的統
制機構タル全國商業統制總會ハ已ニ設立ヲ見テ近ク事業開始ノ段階ニ
入ルコトカ期待ヲラレ租界還付治外法權撤廢ノ實施ト相俟ツテ國民政
府治下ニ於ケル中國側ノ自主的經濟發展ノ基礎ハ逐次確立セラレツツ
アル此ノ時ニ當リ儲備券ニ依ル中南支ノ通貨統一カ完成ノ域ニ達シタ
コトハ參戰下ニ在ル中國ノ經濟建設上寔ニ意義深イモノカアルノデア
リ
ツテ物資通貨ノ兩面カラ中國經濟力急速ニ自主的發展ヲ遂ケ大東亞戰
線ノ一環トシテ戰爭完遂ニ寄與スルコト多大ナルヲ期待スルモノデア
ル

圖ノ割合トシ、從來價格差調整ノ爲中南支ヨリノ輸入爲替ニ付テ行ツ
テ來々商品別ノ特別ニ換算率ヲ用ヒル方法モ之ヲ停止シ爲替交易調整
特別會計ノ運用ニ依リ輸入ノ圓滑ヲ期スル方針デアリ。

◎軍票新規發行廢止ニ關スル大藏省局談 (昭二八、三、二四日發表)
中華民國國民政府ハ昭和十六年一月中央儲備銀行設立以來其ノ育成弗
化ト同銀行券ノ流通擴充ニ努メ、外方モ之ニ全幅ノ協力ヲ爲シ來シタ
ノ一段ノ協力ヲ爲スコトシ、充實シテ來タノ際、此ノ際之ガ確立
規發行ヲ廢止シテ、國庫金ノ支出並ニ銀行ノ預金、貸出、爲替等ノ支
拂ハ原則下シテ軍票ヲ使用セズ總テ中央儲備銀行券ニ依ルコトトシ
併シ軍票ノ新規發行廢止後トモ直ニ市中ニ在ル軍票ヲ回收シ又ハ軍
票建債償務ヲ備行券建切替フルガ如キ措置ヲ採ルコトナク、軍票
ノ流通及軍票建債償務ノ存續ハ認メラレ、中央儲備銀行券ノ使用
ハ付テハ中東支ノ圓滑ニ依リ支障ナク供給セラレ、軍票ノ新規發行
止スルモ何等不便ハナシ
中央儲備銀行券ト日本圓トノ換算率ハ同銀行券百元ニ對シ日本圓十八
圓ノ割合トシ、從來價格差調整ノ爲中南支ヨリノ輸入爲替ニ付テ行
テ來々商品別ノ特別ニ換算率ヲ用ヒル方法モ之ヲ停止シ爲替交易調整
特別會計ノ運用ニ依リ輸入ノ圓滑ヲ期スル方針デアリ。

◎軍票ノ新規發行廢止ニ關スル國民政府財政部長談話（昭八三二四日發表）
華僑以來華中各地ニ通用ナル通貨ハ舊法幣、華興券及ビ友邦發行軍票ノ三種ガアリ、種類ハ雜多ニシテ價值ハ一定セズ、金融ノ運用ニ禍スルトコロ少シトシヨカツタ、ワガ國府還都スルヤ先ヅ中央儲備銀行ヲ設立シ發券ノ特權ヲ付與シ幣制統一、金融安定ノ基礎ヲ定メタ所以テアル爾來三年先ヅ華興券ノ發行ヲ廢止シ續イテ儲備券ト舊法幣トノ等價關係ヲ斷絶シ、更ニ舊法幣ノ法定通貨制ヲ剝脱シモツテ儲備券ヲ唯一通貨トシタノデアル、ワガ政府ハモトヨリ全力ヲ擧ゲテコレニ從ヒ友邦當局モマタ全面的ニ協力スントコロガアツタ。
カクテ民國三十一年五月舊幣ノ整理ヲ實施シマタ中日双方ハ儲備券、軍票兌換率ヲ協定シ儲備券百元ヲ以ツテ軍票十八圓ト兌換スル事ニシタ、更ニ同年九月十五日ヨリハ上海虹口區ヲハ儲備券、軍票兩建制ヲ採用シ續イテ十月一日以降南京、日本人商店モマタ儲備券、軍票兩建制ヲ實行セルトコロ成績頗ル良對ニシテ齊シク便利ヲ證ハレタノデア

ル、然シテ更ニ合作ノ制ノ前進ヲハカラシメタメ昨年十二月一日ヨリ友邦側ハソノ在華居留民ノ給與、物件ノ購入等ノ支拂モマタスベテ儲備券三割以上マタ全額支拂トイフコトニ改メタ次第デアリ
最近ワガ政府ハ參戰ヲ布告シタルガ友邦ハワガ政府ノ戰時經濟政策ヲ強化セル見地ヨリワガ國ノ通貨問題ニ對スル全面的協力ヲ徹底センガタメコ、ニ本年四月一日ヨリ軍票ノ新規發行ヲ斷然停止スルト、モニ在華國庫支出及ビソノ銀行ノ預金貸出、爲替等ノ支拂ニハ再ビ軍票ヲ使用セズモツテ逐次回收ヲ圖ル事トナツタ、今後ニオイテ儲備券ハ日本圓ト連繫シ、ソノ兌換率ハ依然トシテ百元對十八圓ノ割合ヲ保持スルノデアル、右ニ對シワガ政府ハマタ當然同一歩調ノ方策ヲ實施スベク四月一日ヨリ政府ノ國庫支出ニシテ軍票ニ屬スルモノハスベテ一律ニ儲備券ニ改メルト、モニコ、ニ各地銀錢業公會ニ通令各同業者ニ傳達セシメ預金貸出、爲替等ノ支拂ハスベテ再ビ軍票ヲ使用スルヲ得ナイコトトシタ、本件ハ通貨統一政策ノ推進上重大ナル關係ヲ有スルニ

鑑ミ特ニ此、ニ談話ヲ發表スル次第アル、オヨソワガ商民ハ努メテ
コノ旨ヲ体シ政府ニ協力シ、忠實ニ遵守實行シモツテ金融ト民生ヲ安
定セシムルト、モニ友邦援ハノ厚意ニ酬ユベキアル

右談話ノ發表ニ依リ民衆ハ軍票整理ノ意義ヲ諒解シ一般市場ニハ大イ
ナル變動無ク時ニ軍票預金ノ引出等ノ事實モ見エザリシモ、一部華人
間ニ於テ、日本側ハ之ニ依リ友邦ニ於ケル通貨價值維持工作ノ手ヲ拔
クベク、儲備券ハ亂發セラル、コトトナリ、且ツ後述ノ如ク華北政務
委員會汪督辦ノ聲明ニ依リ相場十八圓ニ決定セラレタル結果儲備券ノ
價值低下必須ト推測シ上海市場ニ於テハ物價一様ニ昂騰ヲ示シタルヲ
以テ、之カ誤解ヲ解ク意味ニ於テ三月二十五日在上海大使館公使名ヲ
以テ外華字紙ニ左記談話ヲ發表シ、軍票新規發行廢止後ニ於テモ日華
兩當局相協力シテ儲備券價值維持工作ヲ爲シテ又儲備券ハ軍票全様日
本圓ト十八圓相場ヲ堅持スルヲ以テ價值安定スル旨開明セリ。

0160

◎軍票新規發行停止ニ關スル田尻公使談話要旨

(三月二十五日外華紙發表)

今回ノ措置テ儲備券ニヨル中南支ノ通貨統一ガ完成スルコトニナルガ
今後ハ日、滿、北支カヲ輸入品及ビ煙草其ノ他ノ地場製品ハスベテ儲
備券ニヨツテ賣出サレ、コノ結果儲備券ノ價值ガ充分維持サレルデア
ラウ、一方軍票ハ除々ニ回收サレテ儲備券ガ廣ク流通スルワケダ
ガ、コレハ軍票ト儲備券トカ入替ツタダゲテ、通貨全体ノ量ソノモノ
ニハ全然變化ハナイ、ソシテ儲備券ノ價值維持ノタメニハ從來、軍票
ニ對シテトラレテキタ措置ガソノママ移サレルノタカラ、儲備券ノ流
通量ガ増加シテモ、ソノ購買力ハ少シモ減ジナイノミカ、ムシロ、コ
レマテ軍票ト儲備券トノ二ツノ目標ヲモツテキタ價值維持工作ガ、儲
備券一本ニ統一サレルコトニヨツテ従前ヨリモ其ノ施策ハヤリヨクナ
リ、圓消ニ進ムモノト思フ

一方華北ニ於テハ華北政務委員會汪督辦カ、又南支ニ於テハ南支軍當
局ニ於テ夫々左記談話ヲ發表軍票整理ニ關スル一般民衆ノ協力ヲ要請
スル處アリキ

◎中國聯合準備銀行總裁兼華北政務
委員會財務總監督汪時璟談話

(昭一八三二四日發表)

今回日本側當局ニ於テ來ル四月一日以降華中ニ於ケル軍票ノ新規發行ヲ廢止スヘキ旨ヲ正式發表セラレタ處之ニ伴ヒ從來華北華中間ニ於テ行ハレタル軍票爲替ハ四月一日以降儲備券爲替トシ儲備券百圓ニ對テ聯券十八圓ノ比率ニ依ル中聯券ト儲備券トノ直接決済ニ改メラレ尙同時ニ華北華中間ニ於ケル旅行者ノ携帶通貨モ右ノ比率ニ依ル中聯券ト儲備券トノ交換ニ改メラレルコトニナツタ、此ニ依リ今後商業上及金融上並旅行者ノ便ニ資スルコト

◎軍票ノ新規發行廢止ニ關スル南支當局談 (昭一八三二四日發表)
南支軍當局談 昭和十七年七月儲備券ガ當地區ニ進出シテ以來軍ハ日本側及ビ中國側關係機關ト緊密ナル連絡ノ下ニコレガ價值維持並ニ流通促進ヲ圖リ來レルガ、日本並ニ中國官民マ々克ク當局ノ方針ヲ支持シ月ツコレニ協力シ積極的ニ儲備券ヲ使用シ今ヤ儲備券ハ軍票ト共ニ當地區ニオケル主要通貨トシテ名實共ニソノ眞價ヲ發揮スルニ至ツタ茲ニヨイテハ昭和十八年四月一日ヨリ軍票ノ新規發行ヲ停止シ爾今總テ儲備券ヲ使用スルコトトナツタ、素ヨリ本措置ハ既ニ發行流通セル軍票ノ流通ヲ禁止スルモノニ非ズ新ナル發行ヲ中止スルモノニテアル即チ儲備券ガ當地ニ於ケル基本通貨トシテ金融經濟ノ各部門ニ深く滲透ナル今日、最早軍票新規發行ノ必要ナク友邦中國ノ基本通貨タル儲備券ヲ利用スル至當ト認メタルニ外ナラナイ、曩ニ聲明サレタル如ク儲備券ハ日華兩當局ニ於テソノ價值ハ堅持サレソノ對日本交換相場タル儲備券百元ニツキ日本圓十八圓ノ比率ハ今後共絕對不變ノモノナレ

日本並ニ中國政府ニ信託シ將來公私共普ク儲備券ヲ使用シソノ信用
ヲ昂揚シ亦友邦中國ノ經濟發展ニ益々寄與センコトヲ切望ス

0163

15

華北ニ於テ汪財務督辦ノ發表ヤル前記談話ハ中北支間ノ爲替決済レ
ニ言及ヤルヲ以テ、上海ニ於テ中北支間爲替決済レトカ十八圓一本
ナルモノトノ印像ヲ與ヘ爲ニ市中ニ相當ノ動搖ヲ生ジタルヲ以テ、國
民政府財政部長ハ三月二十七日更メテ左記談話ヲ發表儲備券ト聯銀券
トノ關係ヲ明瞭トラシムルヲアリタリ。

軍票新規發行廢止ニ關シ周財部長談話

日本當局ハ一昨日(四月一日)ヨリ軍票ノ新規發行廢止後ハ儲備券ト日本國トノ運鑿ハ其ノ兌換率一〇〇元對十八圓ニ確定スル旨發表セルカ儲備券ト聯銀券トノ比率ハ宗々明確ナル規定ニキ爲市況動搖安定セシメ垂北財務總長汪時燾督辦ハ昨日談話ヲ發表シ儲備券ト聯銀券トノ關係ヲ說明ヤリ、記者ハ本件ニ付一般民衆ヲシテ更ニ一步ヲ進メ明瞭ナラシムル必要ヨリ特ニ周財政部長ヲ訪問シ其ノ發表ヲ次ノ如クウケタリ一昨日友邦當局ハ四月一日以降軍票ノ新規發行ヲ停止スト發表セルカ余モ此ノ點ニ關シ同時ニ聲明ヲ發表セリ但シ軍票新規發行廢止後ハ儲備券ト聯銀券トノ關係ハ結局ドウナルカハ時ニ一般人士ノ注意スルトコロニテ之ガ爲推測臆斷スルモノ抑カラズ此ノ點ニ關シテハ當然説明ヲナス必要アリ

謂軍票爲替ハ即チ軍票ト等價ニシテ特定物價ノ交易ニ付、友邦居留民間ニ取組マレタル爲替ナリ、所謂特別圓爲替トハ即チ華北ヲ輸出地トスルニ付前提トシテ個人(ハリシタ)ノ制度ノ下ニ日本國ト決着スル爲替ナリ、所謂匯申トハ即チ儲備券ト直接決着スル爲替ナリ、軍票爲替ハ軍票ノ新規發行廢止ニヨリ當然儲備券ト對聯銀券ト直接爲替ニ轉變スヘク軍票爲替相場ハ軍票ト聯銀券ト等價ナリシヲ以テ元軍票爲替ニシテ現在儲備券爲替ニ代レル範圍内ノモノニアリテハ儲備券對聯銀券ノ爲替率ハ自然一〇〇元對十八圓トナル但シコレハ右範圍内ノモノニ限ラルルハ當然ナリ一昨日汪督辦ノ聲セルモノモ又單ニ之ヲ指シテ言ヒタルニ過キテ特別圓爲替及匯申爲替ニ付テハ今次軍票新規發行廢止トハ何等變化ナシ

以上述ヘタル如ク軍票新規發行廢止ニ伴フ華北華中兩ノ決済方法ハ自然ノ歸趨ニ從フニ過キス、ソノ當然改ムヘキ點ニ付テハ之ヲ改正セルノミニテ從來ト何等實質的變更ナキナリ。

本邦側銀行及外華銀行ニ對スル措置
軍票新規發行廢止ニ伴ヒ銀行側ノ取扱ニ關シテハ三月二十五日本邦
六銀行及華興商業銀行ニ對シ取扱細則ヲ左ノ通り通牒スルト共ニ、
一方前記軍票整理要項第二要項ノ三ニ於テ金融機關ハ本邦銀行、中
央儲備銀行及華興商業銀行ニ限定ヤラレ居ルモ、要項決定ニ際シ關
係機關ノ申合ニ依リ一般華商銀行及外國銀行ニ對シテモ本件要項
ノ趣旨ニ準シ實行方協力ヲ求ムルコトト成リ居リタルヲ以テ、三月
二十五日華商銀行ニ對シテハ銀錢業同業公會幹布ヲ招致シ、又外國
銀行ニ對シテハ各銀行支配人ヲ招致シ夫々軍票新規發行廢止ノ趣旨
ヲ説明シ本件趣旨ニ依ル實施方協力ヲ求メタリ
一方中國側銀錢業者ニ對シテハ財政部長ヨリ各地銀錢公會ニ指令シ
預金、爲替、貸出等ノ支拂ニハ總テ軍票ヲ使用シ得サル旨示達スル
處アリタリ。

0165

昭和十八年三月二十六日

在上海大日本帝國大使館
特命全權公使 田尻愛義

邦銀支配人宛

軍票新規發行廢止ニ伴フ銀行側ノ取扱細目ニ關スル件
來、四月一日以降中南支ニ於テ軍票ノ新規發行ハ廢止ヤラレルコトト
ナリタル處右ニ伴フ銀行側ノ取扱方ニ關シテハ別紙細目ニ依リ實行相
成度

來ル四月一日以降中南支ニ於テ軍票ノ新規發行ヲ廢止スルコトトナリ
タル所右ニ關シ銀行ニ於ケル取扱ハ左ニ依リ實行相成度

第一 軍票ニ關スル事項

一 銀行ハ三月三十一日營業締切後ニ保有スル軍票ヲ四月一日必要已ム
ヲ得ザルモノヲ除キ之ヲ橫濱正金銀行ニ於テ軍票價值平衡金勘定
ヲ以テ儲備券ニ交換スルコト

四月一日以降受入レ又ハ取得スル軍票ハ右ニ準ジ原則トシテ週間、
分ヲ以テ繰メ之ヲ翌週月曜日ニ儲備券ニ交換スルコト

前二項ニ依リ保有スル軍票ニシテ儲備券ト交換ヲナサザルモノニ付
テハ其ノ理由ヲ儲備券ト交換シタル軍票金額ト共ニ其ノ都度當局ニ
報告スルコト

二 銀行ハ四月一日以降別段ノ指示アル迄ハ軍票又ハ軍票小切手ノ受入
ヲ爲スコト

四月一日以降軍票價值平衡資金勘定ニ依ル軍票對儲備券買入軍票

買ノミニ限リ軍票買ハ三月三十一日限リ之ヲ停止スルコトト爲シタ
ルニ付四月一日以降銀行ノ窓口交換ハ軍票現札ノ買ノミニ之ヲ實行ス
ルコト、但特定ノ場合當局ノ指示ニ依リ軍票買ヲ爲スヲ得ルコト

軍票價值平衡資金勘定ニ依ル軍票對儲備券ノ現札買買ニ關シ顧客ヨ
リ徴收シ居タル手数料ハ之ヲ廢止スルコト

四月一日以降軍票 無制限ニ行ヒ差支ヘナキコト
四月一日以降銀行ハ當局ノ許可ヲ受ケタル場合ハ當局ニ於テ指示シ
タル場合ニハ軍票價值平衡資金勘定トノ間ニ軍票對價儲備券買買ヲ爲ス
ヲ得ルコト

第二 軍票預金勘定ニ關スル事項

三 銀行ハ四月一日以降ニ於テモ別段ノ指示ヲ受クル迄ハ原則トシテ軍
票預金勘定ヲ存置シ得ルコト、但シ預金者ノ希望アルトキハ之ヲ
儲備券預金勘定ニ切替向銀行ハ當局ノ別途指示スル處ニ從ヒ預金者ニ對
シ軍票預金勘定ノ儲備券預金勘定ヘノ切替方勵獎ヲ得ルコト

六 銀行ハ四月一日以降ニ於テモ原則トシテ預金者ノ希望ニ從ヒ電票預
金勘定ヲ設クルヲ得ルコト（新規契約ノ締結及既存契約ヲ含ム）

七 銀行ハ別途指示スル迄既存及新設ノ電票預金勘定ニ電票又ハ電票小
切手ヲ受入レ差支ヘ無キコト但シ電票又ハ電票小切手以外ノモノヲ
電票預金勘定ニ受入レザルコト

八 銀行ノ四月一日以降ニ於ケル電票預金ノ支拂ハ總テ儲備券ニ依ルコ
ト但シ小切手ノ振出電票現札ヲ要セザル振替支拂（交換經由手形ノ
支拂ハ之ニ準ズ）ハ電票表示トスルヲ得ルコト
尙當局ハ特ニ必要アル場合ハ電票ニ依ル支拂ヲ指示スルコトアルコ
ト

九 銀行ノ電票預金ノ儲備券ニ依ル支拂テ付テハ電票對儲備券計算率ヲ
電票十八圓ニ付儲備券百元ノ割合トシ同換算率ニ依ル儲備券ヲ以テ
スル支拂ニ付テハ別段手数料ヲ徴セザルコトトシ其他左ニ依ルコト
(1) 支拂ニ際シ換算ノ便宜上預金者ニ對シテハ拂戻請求額ヲ成ル可ク

（2） 拂戻ハ特ニ迅速丁寧ニシ預金者ニ成ル可ク迷惑ヲカケザル如ク努
ムルコト
十 電票手形交換ハ四月一日以降別段ノ指示アル迄從前通り行フコト
右交換ニ依リ生ズル交換戻ノ拂込ハ其ノ一部又ハ全部ヲ付儲備券ヲ以テ爲ス
コトヲ得又交換戻勝トナル銀行ハ交換戻ノ一部又ハ全部ニ付儲備券
ニ依ル拂込ヲ拒否セザルコト

十一 銀行ノ電票預金ノ拂戻ニ要スル儲備券資金ハ銀行ノ手許保有儲備券
一儲備券預金ニ依リ集メ又ハ借入金ニル調達セルモノヲ含ム一ヲ以
テ充當スルカ又ハ本邦ニ同金シアル圓資金ヲ電票ヲ以テ取寄セ之ヲ
電票平衡資金勘定ニ依リ交換シタル儲備券ヲ以テ充當スルモノトシ
右充當ノ方法ニ關シテハ銀行ノ裁量ニ委ヌルコト但シ右本邦ニ同金
シ在ル圓資金ノ取寄ハ電票預金ノ拂戻ノ爲ニ必要ナル限度ニ於テ之
ヲ認ムルモノトシ別ニ當局ノ定ムル所ニ依ルコト

本銀行ハ日本國勸定ノ預金及貸付金ノ取扱ヲ爲スヲ得ズ又現存ノ電票預金、貸付金勸定ヨリ日本國勸定ヘテ切替ヲ爲スヲ得サルコト。但シ軍及官廳係等ノ預金ニシテ特ニ當局ノ認メタル場合ハ此ノ限ニ在ラザルコト

第三 電票貸付金勸定其他電票建債債務ニ關スル事項
本銀行ハ四月一日以降ニ於テモ原則トシテ電票建貸付金ヲ存置スルヲ得ルコト。但シ借入者ノ希望ニ依リ之ガ儲備券建貸付金ヘノ切替ニ應ズルコト

本銀行ハ四月一日以降電票預金ヲ除キ新規ノ債權債務ハ電票建ニ依ラザルコト。新規契約ノ締結及既存契約ノ更新ヲ含ム。但シ特ニ指示スル場合ハ此ノ限ニ在ラザルコト

本銀行ハ四月一日以降ハ別ニ指示スル場合ヲ除キ貸出爲等電票建。又ハ日本國建勸定ノ支拂ハ總テ儲備券ニ依ルコト。又儲備券ニ依ル支拂ヲ拒マザルコト。但シ電票富座貸越勸定ニ對シテハ電票手形ヲ振出ヲ認ムルコト

本銀行ハ(1)中支(武漢地區ヲ含ム)各地域間(2)中南支間ニ於ケル爲替信用狀ニ付テハ四月一日以降特ニ指示スル場合ヲ除キ電票表示ノモノヲ取扱ハザルコト
對日 滿州、北支、香港、海南島關係爲替ニ關シテハ別ニ指示スルコト
本件措置ニ於テ電票又ハ日本國對儲備券ノ換算率ハ電票又ハ日本國十八圓ニ對シ儲備券百元ノ割合トスルコト

(注意)

- 1 中南支ノ他ノ地域ニ店舗ヲ有スル銀行ハ上海店ヨリ本件趣旨ヲ通知シ取扱ニ關シテ來サザル様十分ノ手續ヲ爲スコト
- 2 各店舗ノ所要儲備券資金ニ付テハ券種別ニ明細ヲ附シ當局ニ送付スルコト
- 3 第一ノ一ノ第一項及第二項ノ電票ノ電票價值平衡資金勸定ニ依ル儲備券トノ交換ニシテ現札輸送等ノ關係上指定期日ニ交換ス

ルニト困難ノ向ハ同期日ニ交換スベキ軍票ノ金額ヲ當局ニ報告シ
交換ハ適當ノ時期ニ行フモ可ナルコト
4 其他軍票新規發行廢止ニ關シ銀行ノ取扱等ニ不審ノ點ヲ抱カルル
向ハ上海大使館ニ付照會スルコト
(終)

0199

本邦側銀行ニ於テハ右通牒ニ基キ軍票勘定整理取扱方法ヲ左ノ通り
告一般邦人ニ周知徹底セシムル虞アリタリ。

告

今般軍票ノ新規發行ハ廢止サレルコトニナリマシタ、付テハ四月一日
以降諸勘定ノ受拂ハ左記ニ依リ御取扱致シマス。

- 一 現金兩替
- 二 軍票現金ハ如何様ニテモ儲備券現金ニ兩替致シマス
- 三 儲備券現金ハ軍票ニ兩替致シマセン
- 四 換算率
- 五 軍票下儲備券ノ交換相場ハ現金兩替ノ場合モ軍票勘定切替ノ場合モ
凡テ十八圓ニ付百元ノ割合テ手数料ハカカリマセン
- 六 軍票預金勘定
- 七 軍票現金又ハ軍票表示小切手ノ軍票預金勘定ヘノ入金ハ從來通り

差支へアリマセン。
 2 備備券現金又ハ備備券表示小切手ハ重票預金勘定ニ入金出来マセ
 ン
 3 重票預金勘定ニ對シ小切手ヲ御派出ニナルコトハ從來通り差支へ
 アリマセン。

4 重票現金ノ御引出ハ出来ナイコトニナリマシタ。現金御入用ノ場
 合ハ總テ備備券ヲ御支拂致シマス
 此ノ場合御支拂備備券ニ端數ガ付クト不便デスカラ御引出重票金
 額ガ九倍數ニナル様特ニ御願ヒシマス

四爲替ノ受拂

1 爲替手形ヲ御支拂ニナル場合ハ重票デモ備備券デモ差支へアリマ
 セン
 2 爲替ノ代リ金ヲ御受取ニナル場合ハ現金タルト預金勘定へノ振替
 タルトヲ問ハズ總テ備備券ヲ以テ御支拂致シマス

3 送金爲替御取組ノ場合ハ重票デモ備備券デモ從來通り御取扱致シ
 マス、但シ送金爲替ノ表示通貨ハ中南支向ハ備備券トナリマス

五重票建當座貸越勘定

1 重票建當座貸越勘定ノ御返済ハ重票デモ備備券デモ差支へアリマセン
 2 其他ハ前述ノ重票預金勘定ノ受拂ノ場合ト同一デス
 3 重票表示ノ當座貸契約ガ期限ニナツタ場合ニハ更ニ之ヲ延期スル
 コトハ出来ナイコトニナリマシタ

六重票建貸付金

1 重票建貸付金ノ御返済ハ重票デモ備備券デモ差支へアリマセン
 2 新ニ重票建ノ貸付金ヲスルコトハ禁止トナリマシタ

(註) 五並ニ六ハ店頭ニ揭示セザルコト

六 民國稅ノ儲備券納入取扱並ニ上海日本商工會議所會頭談話發表

軍票整理ニ伴フ前記現地當局談話發表ニ伴ヒ上海居留民團ニ於テハ民國稅其ノ他ノ收納金ノ收納ニ付テハ全般的ニ儲備券ニ依ルニト改正セラルガ一方上海日本商工會議所ニ於テモ軍票整理ニ伴フ諸引ノ儲備券一本遷移行ニ關シ邦人商社ノ注意ヲ喚起スル爲三月二十五日左ノ如キ會頭談話發表當局ノ通貨政策ニ對スル邦人商社ノ積極的協力ヲ要請セリ。

◎軍票整理ニ伴フ上海日本商工會議所會頭談話 (三月二十五日發表)

今回來ル四月一日以降中兩支ニオイテ軍票ノ新規發行ガ停止サレルトトナリ、中兩支ノ通貨ハ所謂儲備券ノ一本建政策ガ實行サレルトトナツタ。コレハ國民政府ノ育成發展ト同政府ノ中央銀行タル中央儲備銀行強化ノ反映デアツテ、ワレワレハ絕對ニユノ通貨政策ヲ支持シナケレバナラナイ。發表ニヨルト四月一日以降軍票ノ新規發行ハ停止サレルガ經濟界ヤ生活ニ急激ナ變化ヲ具シ、ソノ混亂ヲス様ナトガアツテハナラナイトイフ親心カラ當局ハ
一 現在市間ニ流通シテキル軍票ハ引續キ自由ニ流通ヲ許スコト
ニ マタ軍票建ノ預金ト軍票建ノ債權債務ハソノママトシ、直チニ儲備券建切替ノ必要ハナイ
三 ノ臨時ノ辦法ガ講ゼラレタノデ當分ハ儲備券ト軍票トガ併行シテ流通スル譯ガアル、カヤウニシ當分 中ニハ儲備券ト軍票ト流通スルトトニナルガ而モソレハ一時ノ辦法デアツテ一日モ早ク儲備券一本建ニ

シヨウトイフノガ當局ノ方針デアルカラ四月一日カラハ
(イ) 一般經濟界ヤ商社ノ取引ハ儲備券建ツ原則トスルコト
(ロ) マタ個人ノ生活モ儲備券デ出來ル様ニスルコト
從ツテ商社ノ正札ハ儲備券本位トシ、マタ食堂ヤ理髮店等ニ至ルマデ
モ全額儲備券建ツ行ケル様ニ全面的ニ協力体制ヲ確立シテ頂キタイモ
ノデアル。要スルニ四月一日以降ハ經濟取引モ生活モ儲備券サヘ持ツ
テ居レバ何等差支ヘガ生ジナイノダカラ今ノウチニ軍票預金ヲ引出シ
テ置カナイト困ルダラウナドトシデモナイ誤解ヲ起サナイヤウニ吳々
モ注意シテ欲シイモノデアル

0172

セ 國庫金取扱ニ關スル特別規程ノ制定

軍票ノ新規發行廢止ニ件ヒ、中兩支ニ於ケル官廳收支ハ當然儲備券ニ
依ルコトトナルヲ以テ上海大使館ニ於テハ三月二十四日管下各館ニ
左ノ通り通達實施ノ圖滑ヲ計ルト共ニ國庫金取扱ニ關スル特別規程ノ
制定ニ付テハ現地關係機關係官彙時當館ニ參集協議ノ上現地ノ意嚮ヲ
中央ニ上申セル結果中央ニ於テハ現地ノ意嚮ヲ參酌ノ上具體案ヲ作成
三月三十一日大藏省令第一三五號ヲ以テ公布セラレ向時ニ特定地域ト
シテ中兩支ヲ指定スルト共ニ指定換算率ハ儲備券百元ニ對シ軍票十八
圓ト定メラレ四月一日ヨリ施行セララルコトトナレリ。

昭和十八年三月二十四日

上海公使發

管下 總領事 苑

中南支軍票新發發行廢止ニ關スル件

來ル四月一日以降軍票ノ新規發行廢止ニ件ヒ貴館ニ於テモ議ニ通牒セ
ル軍票整理要領ニ基キ左記ニ依リ實施セラレ度

記

- 一 四月一日以降廢庫金ノ支出ニハ軍票ヲ使用セズ儲備券ニ依ルコト
- 二 三月三十一日現在貴館ニ於テ保有スル軍票（軍票預金ヲ含ム）或
ハ貴館關係分トシテ保有又ハ保管スル軍票（軍票預金ヲ含ム）ハ
特別ノ場合ヲ除キ之ヲ四月一日日本邦銀行ニ於テ軍票價值平衡資金
ヲ以テ儲備券ニ交換スルコト
- 三 四月一日以降當分ノ間收入金トシテ軍票ヲ受入ルルコトトシ受入
レタル軍票ハ右ニ準ジ儲備券ニ交換スルコト

特定ノ地域ニ關スル支出官事務、歲入徵收官事務、出納官吏
出納官吏事務及日本銀行國庫金取扱ニ關スル特別規程

第一條 特定ノ地域ニ關スル支出官事務、歲入徵收官事務、出納官吏
事務及日本銀行國庫金取扱ニ關シテハ本令ノ定ムル所ニ依リ之ヲ處
理スルコトヲ得

前項ノ特定ノ地域ハ大藏大臣之ヲ定ム

第二條 支出官特定ノ地域ニ在ル債主ニ對シ邦貨ヲ基礎トスル金額ノ
當該地域ノ逕貨ニ依ル支拂ヲ爲サントスルトキハ支出官事務規程第
九條乃至第十八條ノ規定ニ依リ之ガ取扱ヲ爲スベシ但シ當該地域ノ
通貨ヲ以テ支拂ヲ要スル旨ヲ小切手及歲出金支拂通知書、表面餘白
ニ記載フルコトヲ要ス

支出官特定ノ地域ニ在ル債出ニ對シ當該地域ノ通貨ヲ基礎トスル金
額ノ當該地域ノ通貨ニ依ル支拂ヲ爲サントスルトキハ前項本文ノ規
定ニ準ジ之ガ取扱ヲ爲スベシ但シ其ノ振出ス小切手ノ券面金額ハ當

該地域ノ通貨額ヲ大藏大臣ノ定ムル換算率（以下單ニ指定換算率ト稱ス）ニ依リ換算シタル邦貨額トシ且小切手及歳出金支拂通知書ノ表面餘白ニ當該地域ノ通貨何種ニ換へ支拂ヲ要スル旨ヲ記載スルコトヲ要ス

前二項ノ規定ハ支出官特定ノ地域ニ在ル資金前渡官吏ニ資金ヲ交付スル場合ニ之ヲ準用ス

第三條 特定ノ地域ニ在ル出納官吏ハ現金出納簿又ハ之ニ代用スル帳簿ノ登記ヲ當該地域ノ通貨ノミヲ以テ行ヒ邦貨ニ依ル登記ヲ省略スルコトヲ得但シ乙種以上ノ通貨ヲ出納スル場合ニ於テハ通貨ノ異ナル毎ニ口座ヲ設ケ區分整理スベシ

前項ノ現金出納簿ノ様式ハ別表第一號書式ニ依リ現金出納簿ニ代用スル帳簿ノ様式ニ付テハ所管大臣大藏大臣ト協議シテ之ヲ定ム

第四條 特定ノ地域ニ在ル出納官吏ニシテ所管大臣ノ指定スルモノハ前條ノ規定ニ拘ラス現金出納簿又ハ之ニ代用スル帳簿ノ登記ヲ邦貨及

當該地域ノ通貨ヲ以テ行フベシ但シ二種以上ノ通貨ヲ出納スル場合ニ於テハ通貨ノ異ナル毎ニ口座ヲ設ケ區分整理スルモノトス

前項ノ規定ニ依リ邦貨ヲ登記スル場合ニ於ケル當該地域ノ通貨ヲ邦貨ニ換算整理スル方法ニ關シテハ別ニ之ヲ定ム

第一項ノ現金出納簿ノ様式ハ別表第二號書式ニ依リ現金出納簿ニ代用スル帳簿ノ様式ニ付テハ所管大臣大藏大臣ト協議シテ之ヲ定ム

第五條 特定ノ地域ニ在ル收入官吏ハ當該地域ノ通貨ニ依リ收入金ヲ收納スルコトヲ得但シ所管大臣ノ指定スル收入官吏ニ在リテハ歳入徴收官ニ送付スル報告書ニ當該地域ノ通貨額ノ外邦貨額ヲ傍記スベシ

第六條 本邦ニ在ル資金前渡官吏特定ノ地域ニ在ル資金前渡官吏ニ資金ヲ送付スル場合ニ於テハ出納官吏事務規程第四十條ノ規定ニ依リノ外第二條第一項但書及同條第二項但書ノ規定ニ準ジ之ガ取扱ヲ爲スベシ

前項ノ送金ヲ爲ス場合ニ於テ必安アルトキハ支出官事務規程第十四條ノ規定ニ準ジ之ガ取扱ヲ爲スコトヲ得

第二項ノ規定ハ本邦ニ在ル陸軍又ハ海軍ノ官衙ニ於ケル資金前渡官吏特定ノ地域ニ在ル債主ニ支拂ヲ爲ス場合ニ之ヲ準用ス

第七條ノ所管大臣必安アルト認ムルトキハ本邦ニ在ル出納官吏ニシテ其ノ指定スル者ニ付現金出納簿又ハ之ニ代用スル帳簿ノ登記ヲ邦貨及特定ノ當該地域ノ通貨ヲ以テ行ハシムルコトヲ得

第四條ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第一項ノ場合ニ於ケル特定ノ地域ニ在ル出納官吏ノ行フ現金出納簿又ハ之ニ代用スル帳簿ノ登記ニ付テハ第三條ノ規定ニ依ル

第八條ノ特定ノ地域ニ在ル資金前渡官吏ハ其ノ保管ニ屬スル當該地域ノ通貨ヲ以テ日本銀行ニ預託スルコトヲ得

第九條ノ特定ノ地域ニ在ル資金前渡官吏本邦ニ在ル資金前渡官吏ニ資金ヲ送付スル場合ニ於テハ出納官吏事務規程第四十條ノ規定ニ依ル

ノ外小切手及預託金支拂通知書ノ表面餘白ニ邦貨何程ニ換ヘ支拂ヲ要スル旨ヲ記載スベシ

特定ノ地域ニ在ル資金前渡官吏他ノ特定ノ地域ニ在ル資金前渡官吏ニ資金ヲ送付スル場合ニ於テハ出納官吏事務規程第四十條ノ規定ニ依ルノ外小切手及預託金支拂通知書ノ表面餘白ニ他ノ特定ノ地域ノ通貨ニ換ヘ支拂ヲ要スル旨ヲ記載スベシ

前項ノ規定ハ特定ノ地域ニ在ル陸軍又ハ海軍ノ官衙ニ於ケル資金前渡官吏本邦又ハ他ノ特定ノ地域ニ在ル債主ニ支拂ヲ爲ス場合ニ之ヲ準用ス

第十條ノ特定ノ地域ニ在ル出納官吏ノ當該地域ノ通貨ニ依ル收入金ノ收納及拂込前渡ヨ受ケタル資金ノ預託、送付及支拂ニ關スル書類ノ様式ニ付テハ出納官吏事務規程及大正十一年大藏省令第二十號ニ定ムル當該書類ノ様式ヲ準用ス

第十一條ノ支出官又ハ歳入徴收官特定ノ地域ニ在ル資金前渡官吏ニ對

シ其ノ前渡ヲ受ケタル資金ニ付返納又ハ納入ヲ爲サシムル場合ニ於
テハ其ノ發スル告知書ノ餘白ニ邦貨額ニ代ヘ當該地域ノ通貨何程ヲ
以テ納付シ得ベキ旨ヲ記載スベシ

前項ノ規定ハ特定ノ地域ニ在ル返納人ニ對シ返納ヲ爲サシムル場合
ニ之ヲ準用ス但シ邦貨額ニ基礎トスル金額ノ支拂金ニ付返納ヲ爲サシ
ムル場合ニ於テハ邦貨額ヲ指定換算率ニ依リ換算シタル當該地域ノ
通貨額ヲ以テ納付シ得ベキ旨ヲ記載スベシ

第十二條 日本銀行ハ其ノ本店ニ日本銀行願庫金取扱規程第五條ニ定
ムル預金勘定ノ外特定通貨當座預金勘定ヲ簡キ特定ノ地域ノ通貨ニ
依ル政府預金ヲ區分整理スベシ

特定通貨當座預金勘定ハ日本銀行ニ於テ取扱フ特定ノ地域ノ通貨ニ
依ル願庫金ノ受拂ヲ整理スベキ勘定トス

第十三條 特定ノ地域ニ在ル日本銀行出納官吏又ハ返納人ヨリ當該地
域ノ通貨ニ依リ拂込又ハ返納アリタルトキハ出納官吏又ハ返納人ニ

交付スル領收證書、支出官又ハ歳入徴收官ニ送付スル領收濟通知書
及支出官ニ送付スル報告書ニハ其ノ收入金ノ拂込ニ係ルモノニ付テ
ハ當該地域ノ通貨額ノ外之ヲ指定換算率ニ依リ換算シタル邦貨額ヲ
其ノ他ノモノニ付テハ邦貨額ノ外其ノ領收シタル當該地域ノ通貨額
ヲ傍記スベシ

前項ノ拂込又ハ返納ノ金額ニシテ納入告知書又ハ返納告知書記載ノ
邦貨額ニ對シ指定換算率ノ變更ニ因リ差増減ヲ生ジタルトキハ大蔵
大臣ノ定ムル所ニ依リ之ヲ力驗理ヲ爲スベシ

第十四條 特定ノ地域ニ在ル日本銀行第二條ノ規定スル小切手ノ呈示
又ハ歳出金支拂通知書ノ提出ヲ受ケタルトキハ當該地域ノ通貨ヲ以
テ之ガ支拂ヲ爲スベシ

前項ノ支拂了シタル場合ニ於テ必要アルトキハ其ノ指定換算率ヲ
支出官ニ通知スベシ

第一項ノ支拂金額ニシテ小切手又ハ歳出金支拂通知書記載ノ邦貨額

ニ對シ指定換算率ノ變更ニ因リ差増減ヲ生ジタルトキハ大藏大臣ノ定ムル所ニ依リ之ヲ整理ヲ爲スベシ
前三項ノ規定ハ第六條ノ規定ニ依リ本邦ニ在ル資金前渡官吏特定ノ地域ニ在ル資金前渡官吏又ハ債主ニ資金ノ送付又ハ支拂ヲ爲シタル場合ニ之ヲ準用ス

第十五條 特定ノ地域ニ在ル日本銀行ハ當該地域ノ通貨ヲ以テ預託金ノ出納ヲ爲スモノトス
前項ノ預託金ニ關スル書類ノ格式ハ日本銀行國庫金取扱規程ニ定ムル當該書類ノ格式ヲ準用ス

第十六條 日本銀行第九條第一項ニ規定スル預託金支拂通知書ノ提出ヲ受ケタルトキハ同通知書記載ノ邦貨額ヲ以テ之ガ支拂ヲ爲スベシ
日本銀行第九條第二項ニ規定スル預託金支拂通知書ノ提出ヲ受ケタルトキハ同通知書記載ノ通貨ニ依リ之ガ支拂ヲ爲スベシ
第十四條第三項ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第十七條 日本銀行ハ日本銀行國庫金取扱規程第七十條ニ定ムル帳簿ノ外特定通貨當座預金内譯帳ヲ日本銀行本店ニ備フベシ

前項ノ特定通貨當座預金内譯帳ニハ大藏大臣ノ定ムル口座ヲ設ケ特定ノ地域ノ通貨ニ依ル預金ノ受拂額ヲ記入スベシ但シ當該地域ノ通貨ノ異ナル毎ニ區分整理スルモノトス

第十八條 日本銀行日本銀行國庫金取扱規程第七十條ニ定ムル國庫金總括帳、國庫金受拂内譯帳、國庫金受拂總括帳、國庫金受拂報告額整理帳、隔地拂資金内譯帳及預託金内譯帳ニ特定ノ地域ノ通貨ニ依ル國庫金ノ受拂額ヲ記入スル場合ハ邦貨ニ依ルモノト區分ノ上當該地域ノ通貨ノ異ナル毎ニ之ヲ整理シ其ノ受拂額ニ記入スベシ

第十九條 日本銀行ハ日本銀行國庫金取扱規程第八十六條ニ定ムル計算報告表ノ外特定通貨當座預託金受拂内譯表ヲ調製スベシ
前項ノ特定通貨當座預託金受拂内譯表ハ日本銀行本店ニ於テ毎日之ヲ調製シ大藏省ニ提出スベシ

第二十條 日本銀行日本銀行國庫金取扱規程第八十六條ニ定ムル國庫金貸借對照表、國庫金受拂報告表、預託金月計突合表及某月出納計算書並ニ同規程第九十四條第一項第三號及第四號ニ定ムル内譯表ニ付テハ特定ノ地域ノ通貨ニ依ル國庫金ノ出納ニ關スルモノヲ邦貨ニ依ルモノト區分シ別表ニ調製スベシ

第二十一條 本令ニ依リ日本銀行ノ取扱フ國庫金ニシテ本邦又ハ特定地域ノ相互間ニ振替受拂ヲ安スルモノノ取扱手續ニ付テハ日本銀行大藏大臣ノ認可ヲ經テ之ヲ定ムベシ

第二十二條 本令ニ規定セザル事項ニ關シテハ支出官事務規程、出納官事務規程、昭和十六年大藏省令第三十九號及日本銀行國庫金取扱規程ノ定ムル所ニ依ル

附 則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

所管大臣ハ管分ノ内大藏大臣ノ指定スル特定ノ地域ノ通貨ニ依ル現金ノ出納又ハ收入金ノ收納ニ付第四條、第五條但書又ハ第七條第一項及第二項ノ規定ニ拘ラス現金出納簿又ハ之ニ代用スル帳簿ノ登記又ハ歲入徴收官ニ送付スル報告書ノ記載ヲ邦貨ノモノ以テ行ヒ當該地域ノ通貨ニ依ル登記又ハ記載ヲ省略セシムルコトヲ得

大藏大臣ハ管分ノ内日本銀行カ前項ノ特定ノ地域ノ通貨ニ依リ取扱フ國庫金ノ出納ニ付第十三條ノ規定ニ拘ラス出納官吏又ハ返納人ニ交付スル領收書ハ支出官又ハ歲入徴收官ニ送付スル領收通知書及支出官ニ送付スル報告書ニ於ケル當該通貨額ノ傍記ヲ省略セシムルコトヲ得

備考
特定ノ地域ノ通貨相互間ニ於ケル換算率ハ本表ノ換算率ニ依リ裁定
シ適用スルモノトス

第十六 中露支對日本北支滿洲 單方間旅行者
携帶金交換方法改訂措置

一現地機關決定
中露支對日本内地其ノ他大東亞共榮圈内各埠間旅行者ノ携帶金ハ
從來中露支重票對日銀券其ノ他通貨トノ交換ヲ爲シ居リタル處前
述ノ重票新規發行廢止ニ伴ヒ今後ハ儲備券日銀券其ノ他各埠域通
貨トノ交換ヲ行フ要生ジタルヲ以テ之カ取扱方法ヲ改訂スルコト
トシ二月十九日現地關係機關協議ノ結果取扱要領ヲ左ノ通り決定
セリ
尙本件取扱ハ北支ノ聯銀券並ニ滿洲ノ滿洲券ニ關スル現行取扱ト
ノ關係モアリ各埠域ヲ通シ統一の取扱ヲ爲スヲ便宜トスル事情ア
ルヲ以テ各關係方面ニ連絡研究方依頼セリ。

◎ 中南支對日本、北支、滿洲、兩方面旅行者並攜帶金交換方法改訂ノ件

一 交換通貨

中南支對日本、北支又ハ滿洲其他兩方諸地域間ノ旅行者ニ對シテハ原則トシテ陸路、海路又ハ空路中南支ト直接連絡スル地域ノ通貨對諸儲備券間ノ交換ノミ取扱フコト但シ特別ノ事情ニ依リ本文ノ取扱ヲ適當トセサル場合ニ於テハ此ノ限りニ非ザルコト各通貨對諸儲備券ノ交換比率ハ一定比率アルトキハ之ニヨリ之ナキトキハ別ニ定メラル所ニ依ルコト

二 交換金額

各地域ノ為替管理法ノ制限ニ照應シテ之ヲ決定スヘキトコロ一應現行ノ中南支日本置票ノ其他地域通貨ノ交換限度金額ヲ其諸儲備券連ニ換算セル金額ヲ以テ無許可交換ノ限度金額トスルコト

ト右ヲ超ユル金額ノ交換ニ付テハ所定ノ許可機關ノ交換許可書ヲ呈示セシメタル上交換ヲ爲スコト

三 交換ノ方法

制限外金額ノ通貨ノ移出入ヲ防止スル爲交換ヲ請求セントスル者ヲシテ乗船券、乘車券又ハ乗空券ヲ呈示セシメタル上交換ニ應ズルコト

四 交換ノ場所

旅行者ノ出發前ニ於テ交換ヲ行フコトヲ建前トスルコト但シ止ムヲ得サル場合ニ於テハ別ニ指定シタル到着地ニ於テモ之ヲ取扱フヲ得ルモノト爲スコト

中南支對日本、北支又ハ滿洲(關東州)各地域間ノ定期便船航空機發着地及ビ中北支間鐵道接續地點附近ニハ成ルベク埠頭、飛行場又ハ停車場ニ出張交換所ヲ設置スルコト
其他旅客ノ便宜上成ルベク多數ノ交換所ヲ設置スル如ク取扱フ

交換機關

中支ニ於テハ中央儲備銀行其他ノ地域ニ於テハ適當ナル金融機關一成ルヘク其地域ノ發券銀行トシ中央儲備銀行ハ他地域ノ交換機關トノ間ニ協定ヲ結ビ以テ相互ニ自行管轄地域内ニ於ル他地域通貨ト自行赤トノ交換ヲ取扱フコト
交通機關ハ其管轄地域内ニ適宜交換所ヲ設置スルコトトシ必要アルトキハ更ニ他ノ銀行等ニ交換事務ヲ委託スルヲ得ルコト
内交換機關ハ夫々其管轄地域内ニ於ケル通貨交換ノ費用ヲ負擔スルコトトシ旅行者等ニ對シテハ無手数料ヲ以テ交換ヲ爲ス

交換資金ノ準備

中央儲備銀行ハ他地域ノ交換機關トノ間ニハ交換用資金トシテ儲備資金及ビ他地域通貨資金所要額ヲ夫々相手方ノ預金又ハ

地域別交換方法

保管金トシテ保有シ之ニ依ツテ交換ノ受拂ニ充ツルコト

中支日本内地間旅行者ニ對スル措置

儲備銀行ト日本銀行トノ間ニ協定ヲ行ヒ左記ニ依リ儲備券對日銀券ノ交換ヲ爲スコト

交換場所及交換取扱機關

(A) 中支支地區
上海、南京、廣東、厦門、仙頭各埠儲備銀行並ニ日本側銀行店舗
上海ニ於テハ右ノ外埠頭交換所(漢口銀行ニ委託)
大場鎮飛行場交換所(中華航空ニ委託)

日本内地

東京、大阪、○神戸、廣島、○門司、○福岡、長崎、各埠ニテ交換ヲ爲スコトトシ其取扱機關ハ日本銀行其他儲備銀行ト協定シタルモノトスルコト
尙○印ノ埠頭又ハ飛行場交換所ヲ設置スルコト

交換金額

(3) 旅行者一人當り日本圓二〇〇圓相當額以内

(4) 交換資金ノ手當(及ヒ其決濟)ノ方法
①兩地域交換機關ハ交換用資金トシテ儲備券資金又ハ日銀券資金
金所要額ヲ預金又ハ保管金トシテ相互ニ預貯スルコト

②交換機關ハ資金ヲ必要ノ場所ニ配置シ交換ニ應ズルコト
③交換用資金ノ決濟ハ濱濱正金銀行上海支店ヲ通ジテ行フコト
但シ現送ヲ要スルトキハ別途考慮スルコト

(5) 中兩支臺灣間旅行者ニ對スル措置

儲備銀行ト臺灣銀行トノ間ニ協定ヲ行ヒ左記ニヨリ儲備券對臺銀券
ノ交換ヲ爲スコト

(1) 交換場所及交換取扱機關
上海、廣東、厦門、汕頭、各埠儲備銀行並ニ臺灣銀行店舗臺北
基隆、高雄

(2) 交換金額

旅行者一人當り臺銀券二〇〇圓相當額以内
(3) 交換資金ノ手當(及ヒ其決濟)ノ方法
中兩支日本内地間ノ場合ニ準ジ取扱フコト

(6) 中兩支北支間旅行者ニ對スル措置

中央儲備銀行ト中國聯合準備銀行トノ間ニ協定シ左記ニヨリ儲備
券對聯銀券ノ交換ヲ行フコト

(1) 中兩支ヨリ北支向旅行ノ場合

(A) 海路

一、二等船客 聯銀券二〇〇圓相當額ヲテ
三、四等 一〇〇圓

(B) 陸路

①交換場所及ヒ交換取扱機關
上海、中央儲備銀行分行並ニ埠頭交換所(漢口銀行ニ委託)

(2) 交換金額

聯銀券二〇〇圓相當額迄

(3) 交換場所

上海及ヒ南京中央儲備銀行店舗
蚌埠埠交換所(中央儲備銀行ヨリ出張)

(0) 空路

(1) 金額

聯銀券二〇〇圓相當額以内

(2) 交換場所及ビ機關

南京上海儲備店舖及ビ大場鎮飛行場交換所(中華航空ニ委託)

(3) 北支ヨリ中南支向旅行ノ場合

(A) 海路

(1) 交換場所

天津、青島

(B) 陸路

(2) 其他中南支ヨリ北支向旅行ノ場合ニ關シ

(1) 交換金額

蚌埠迄

南京迄

聯銀券 三〇圓以内

五〇圓以内

0137

上海又ハ安慶迄 一〇〇圓
漢口迄 二〇〇圓

以上切符ヲ揭示セシメ交換額ヲ定ム

(2) 交換場所及ビ機關

北京、天津、青島。

徐州、驛交換所

蚌埠

(0) 空路

交換金額二〇〇圓以内

交換場所 北京、天津

(3) 交換資金ノ準備並ニ其決済方法

(1) 諸備銀行ト聯銀トノ間ニ交換用資金トシテ諸備券資金又ハ聯

銀券資金所要額ヲ預金又ハ保管金トシテ各々相手方銀行ニ預

託スルコト

(四) 兩行ハ各々右資金ノ必要ノ場合ニ配置シ交換ニ應ズルコト
(五) 右交換用資金ノ決済ハ正金銀行上海支店又ハ北京支店ヲ通シ
テ行フコト

但シ現金ノ受渡ハ蚌埠儲備、徐州聯銀兩店舖間ニ於テ之ヲ爲
スモ可ナルコト

(六) 中南支滿洲間旅行者ニ對スル措置

中南支北支間旅行者ト同様ノ取扱ヲ以テ儲備券聯銀券間ノ交換ヲ
行ヒ、直接儲備券對滿銀券ノ交換ハ取扱ハズ

(七) 中南支南方間旅行者ニ對スル措置

當分ノ間軍支ニ於テ前各項取扱ニ準ジ儲備券ト南方通貨トノ直接
交換ヲ取扱ハシメ中支ニ於テハ儲備券ト南方通貨トノ直接交換ハ
取扱ハズ

交換取扱機關及交換金額ハ兩支各地ノ實情ニ即シ夫々ノ地ニ於テ
南方各地金融機關ト協定之ヲ決定スルモノトス

(八) 所定ノ證明アル軍用ノ資金ニ付テハ前各項ニ拘ラズ出來得ル限り
便宜ノ取扱ヲ爲スコト

軍人軍屬ノ私用金ハ軍關係規定ノ定ムルトコロハ依リ措置スルモ
交換取扱場所並ニ機關ニ付テハ成ルヘク便宜ノ取扱ヲナスコト

右決定案ニ付兩支側ニ於テハ全般的ニ同意見ナリシモ中北支間ノ取扱
ニ關シ華北當局ニ於テハ種々研究ノ結果別ニ北中支旅行者携帶金交換
ニ關スル實施要項ヲ決定締結シ來リ、一方南京ニ於テモ上海ニ於ケル
現地機關決定案ヲ骨子トシ華北側ノ意見ヲ參酌シ三月二十八日左記交
換規則ヲ決定中央ノ諒承ヲ待タルヲ以テ四月一日以降ニ於ケル中北支
間旅行者携帶金交換ハ右規則ニ依リ實施スルコトトナレリ。